

抱樸館を支える会 会報

48号



2021年8月1日発行:抱樸館を支える会

一般社団法人抱樸館を支える会会長の三原幸子さん取材しました

～抱樸館を支える会の想いを伝えたい～

2020年12月に一般社団法人抱樸館を支える会の会長に就任された三原幸子さん取材しました。三原さんはグリーンコープ生活協同組合ふくおか、社会福祉法人グリーンコープの理事長も兼任されています。

―抱樸館の立ち上げのところから関りがあったそうですね。

「抱樸館立ち上げ前の検討の時から、関りがありました。実は、ホームレス支援をするとなったときに、正直な話ですが、それは難しいと感じていました。でも、ホームレス支援の検討委員会があって、その話を聞く前と後では、考え方が真逆になりました。



三原 幸子会長

『これは絶対に応援しないといけない』と思うようになりました。ホームレスになってしまった境遇や社会の構図、制度など色々な理由を知ったのです。このとき私は、明日は我が身であるとも感じました。社会の支える制度が足りてなくて、それを訴えている間にも、目の前の命が失われていく現状があります。そう思ったときに、みんなで支えあい、助け合えるのだったら、自分にできることをしようと思いました」

―皆の想いが広がり抱樸館を支える会の支援の輪が広がってきたんですね。

「抱樸館を支える会に賛同いただいている皆さまへ心より感謝を申し上げます。想いがあって、目の前の人困っていても、一人の力じ

やどうにもならないこともあると思います。災害支援でも同様ですが、グリーンコープの皆さんからカンパをいただくことで、グリーンコープは炊き出し等、様々な支援に伺うことができます。現地では、感謝の言葉をいただきますが、私は必ず『42万人の組合員さんからです』と伝えます。私たちが、どんなに熱い想いがあっても、やっぱりお金がないとどうにもできないこともあります」

「今、グリーンコープには子どもたちへの支援要請が届けられることが増えています。私たちは要請のあった支援の現場へ出会うために訪問し、支援の輪をつなぐようにしています。私は、支援をしたいのは、みんなの想いだと思っています。想いが形になるのは抱樸館を支える会の賛助会員をはじめ、何か呼びかけたら呼応して下さる組合員さんがたくさんいてくださるからで、本当にすごいことだし、ありがたいことだと思います」

「人は皆、困っている人がいたら手を差し伸べたいという気持ちを持っていると思います。でも、すぐに困っている人のところへ駆けつけて、支援をすることはなかなかできないと思います。そんな時、グリーンコープだったら、きっと有効に活用してくれるという信頼関係の元、お金を託してくれます。これは支える会も同じことだと思います。ですので皆さんからの支えや想いを無駄にしないように、きちんと有効に使わせてもらって、そして、きちんと何に使ったかを報告をします。使い道を決める私たちとしては、託した想いがどうなったかの結果をお届けできるようにしていきます」

―ありがとうございました。

2021年7月吉日

一般社団法人 抱樸館を支える会
賛助会員の皆さま

一般社団法人 抱樸館を支える会
会長 三原 幸子

「抱樸館を支える会」の賛助会員数が昨（20）年11月末に「夢の1万名」に到達し、本（21）年6月末現在、10,445名になりました。

「抱樸館を支える会」の昨（21）年度決算報告と、「抱樸館福岡」の経営状況などについて、以下のとおり、ご報告いたします。

賛助会員の皆さまの暖かいご支援に、心から御礼申し上げます。そして、一般社団法人 抱樸館を支える会は、2020年11月末に賛助会員数が1万名に到達することができましたことをご報告いたします。

さて、今（21）年も6月23日に、「一般社団法人 抱樸館を支える会」の第11期定時社員総会が開催され、昨（20）年度の決算報告をはじめ、必要なすべての議案について、承認・可決いただくことができました。うけて、「抱樸館を支える会」の昨（20）年度決算報告と「抱樸館福岡」の経営状況ほかについて、以下のとおり、ご報告いたします。

（1）「抱樸館を支える会」の様子について

一般社団法人 抱樸館を支える会は、「ホームレス者及び生活困窮者の支援」を目的とし、2010年6月に設立されました。そして、2013年8月からは隔月で「会報」を発行し、累計発行部数は40万部を超えています。

2017年度から「子どもの居場所づくり」のために寄付を行いました。そして、2020年度は「一般社団法人 抱樸館を支える会賛助会員募集チラシ」にて、「子どもの居場所」「フードサポート」の取り組みを案内したことにより、2020年11月末に賛助会員数が1万名を超え、本（21）年6月末現在の賛助会員数は10,445名になりました。

本当にありがたいことです。賛助会員の皆さま、どうかこれからも「抱樸館を支える会」をお支えくださいますよう、心からお願い申し上げます。

（2）「抱樸館を支える会」は昨（20）年度、以下のとおり、「抱樸館福岡」などに合計2,700万円の寄付をいたしました。そして、引き続き、「生活に困窮する子どもたち」への支援のために1,000万円を寄付しています。その上で、「支える会」は4,178,479円の黒字で決算することができました。

(1) 今年度の収入は、前年度繰越金を含めて、33,364,829円でした。
賛助会費は組合員、一般会員、企業会員合わせて29,677,154円でした。

(2) 支出としては抱樸館（北九州、福岡、熊本）の他、前年に引き続き「子どもの居場所」関係に寄付しました。

(3) 具体的には、以下のとおり、寄付いたしました。

抱樸館福岡	13,000,000円
子どもの居場所関係	10,000,000円
抱樸館北九州	2,000,000円
抱樸館熊本	2,000,000円
合 計	27,000,000円

(4) 支出の合計は、寄付を含めて、29,186,350円でした。

(5) 2020年度の収支差額は、4,178,479円となりました。

(3) 上述しましたとおり、「支える会」は「子どもの居場所づくり」などのために、2017年度以降、毎年1,000万円を寄付することができています。

福岡都市圏を中心に「生活に困窮する子どもたち」を支援する取り組みの輪が広がり、福岡都市圏の小中学校において、「食育」としての「朝食支援」の取り組みが広がりました。

そして、現在、「子どもの居場所」「フードサポート」の取り組みとして、福岡県内28箇所のほか、島根県、熊本県、大分県、鹿児島県にまで、社会的意義のある取り組みとして、「生活に困窮する子どもたち」を支援する取り組みの輪がどんどん広がっています。

(4)「抱樸館福岡」は「支える会」からの寄付金1,300万円を算入した上で、昨(20)年度は2,880,508円の黒字で決算することになりました。

(1)「抱樸館福岡」の建物建設費は2億3,317万円でした。そして、昨(20)年度は建物の減価償却費として、10,249,550円を計上しています。
その結果、累計減価償却費は111,890,920円になっています。

(2) 加えて、昨(20)年度末現在の「抱樸館福岡」の累計剰余は61,937,474円に増加しています。

(3)「抱樸館福岡」の累計剰余(61,937,474円)と累計減価償却費(111,890,920円)を合算しますと、1億73,828,394円になります。これは、「抱樸館福岡」の建物建設費(2億3,317万円)の74.6%に相当いたします。

(4) ですから、私たちは「抱樸館福岡」の建物建設費の75%弱に相当する償却をすでに終えている、ということになります。

(5) 賛助会員の皆さま、これからも頑張りますので、引き続きご支援賜りますよう、伏してお願い申し上げます。

以上

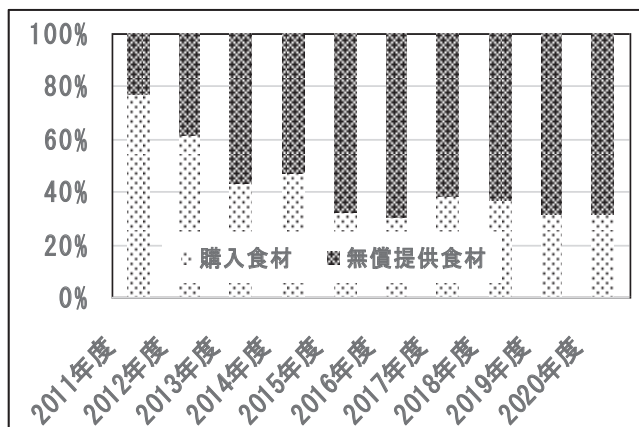
いただいた食材を大切にして季節感や温かを感じられる食事の提供に努力しています!

～抱樸館福岡の食事はグリーンコープの取引先から提供いただく食材に支えられています～

約7割の食材を無償提供いただいています。

抱樸館福岡が開設されたのは、2010年5月で、今年で12年目に入りました。開設当初は、食材をすべて購入していました。当時、居室が満室の場合の食材費は年間1200万円位でした。

2012年1月にグリーンコープの取引先に食材提供をお願いしました。多種多様な商品を作っている生産者・メーカーから、たくさんの食材を提供いただけるようになりました。入居人数を勘案した食材の購入比率（購入食材：無償提供食材）は以下ようになっており、約7割の食材を提供いただいています。



2020年度も購入食材を減らすことができました。

2020年度の購入食材は約257万円で、前年よりも約20万円減らすことができました。無償でいた



だいた食材はほとんど変わりませんでしたが、購入食材の約4割を占めるお米を2019年度にたくさんいただいたため在庫が6月中旬まであり購入せずに済んだこと、3波にわたる新型コロナウイルスの影響を受け入居制限したこと

で入居者の減少があり、購入費は微減となりました。そうした中でも、特別メニューとして土用の丑の日にうなぎを提供したり、クリスマスに合わせたメニューを工夫したり、大晦日にはすき焼きを、元旦にはお雑煮、おせちを用意するなど、季節の行事に合わせた料理も提供しています。



2021年の元旦メニュー

この様に工夫を凝らし、入居者に季節感や家庭に居るような温かい雰囲気を感じていただけるようにしています。そのような取り組みを重ねつつ、市販品の購入を減らせたことは、本当に皆様からの提供のおかげと感謝しています。

2020年度は、61のメーカー・生産者から、無償提供いただきました。

青果の9割くらいは生産者から無償で提供いただいています。無償提供いただいている青果は小玉などの規格外青果が中心です。

根菜類（バレイショ、玉ねぎ、人参、大根、かぶなど）、葉野菜（白菜、キャベツ、レタス、小松菜、青しそ、ネギの葉など）、果菜類（きゅうり、なす、トマト、スイートコーン、かぼちゃ、ゴーヤなど）、果物（小玉すいか、柿、晩柑など）をいただいております。購入するのは時期的に不足する葉野菜と果菜類の一部です。旬の時期には工夫を凝らして、いただいた野菜を工夫していろいろなものに使っています。



グリーンコープの生産者から提供される野菜は味が良いので、入居者に大好評です。

椎茸・えのき茸は毎週提供いただいております。購入することはありません。

たまごは、たまごの生産者から毎週20～30kgを無償提供いただいています。



たまごはよく使う食材です。抱樸館福岡で使うたまごはすべて無償提供いただいております、本当に助かっています。

調味料では、年間を通じて味噌・醤油はグリーンコープの取引先からの無償提供分でまかなえています。味噌・醤油は基本的な調味料で、味の決め手なので、とても助かっています。

年間に無償提供いただく味噌は約360kg、醤油は約220リットルになります。



それ以外の調味料ではケチャップ、ソース、ポン酢、ドレッシング、ヨーグルトソースなどを無償提供いただいております。

豆腐や油揚げ、豆腐は毎週60丁(×300g)無償提供いただいております。揚げも不定期に無償提供いただいております。豆腐・揚げ類は、すべて無償提供いただいております。

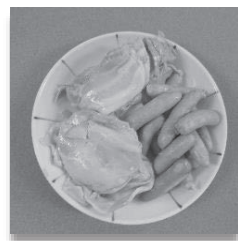
納豆は朝食に大好評です。これも現在では無償提供いただいた納豆だけでまかなえています。



練り製品(天ぷら類など)は毎週定期的に無償提供いただいております、購入することはありません。



ハム・ソーセージはGCハム・ウィンナー・ベーコン規格外を無償提供いただき、購入する必要はなくなっています。



こんにゃくは毎月定期的に無償提供いただいております、購入する必要はありません。

漬物はキムチ類を無償提供いただいております。食事の際、入居者が自由に食べられるようにしています。

パンは週に2回の朝食です。メインの食パンはメーカーより継続して毎週無償提供いただいております。

お米は、購入食材費に占める割合は例年約4割です。2019年度に例年を超えてたくさんのお米の提供をいただきましたので、2020年度は6月までお米を購入しなくて済みました。結果、購入食材費に占める割合は22%でした。グリーンコープの取引先(生産者など)と取引先以外の支える会会員の方など3名の方から合計1,545kgを無償提供いただきました。年間消費量の約4ヶ月分に相当します。

その他の食材では、あさり、ホタテ、かつおパック、ひじき、味付け数の子などの水産加工品、お餅類、冷凍そば、年越しそば、ぬか漬の素、お菓子類などを提供いただいております。

グリーンコープ連合の農産部や青果リパック事業部からは、予備品や規格外のかぼちゃ、チンゲン菜、たまねぎ、レタス、りんご、バナナ等を提供いただいております。また他の部署からも冷凍食品、ドライ商品、お菓子等をいただいております。

提供いただいている取引先名・生産者名は、感謝を込めて1年分をまとめて、抱樸館福岡の食堂にて、お名前を紹介させていただいております。

厨房職員の工夫で美味しい食事になります。

食材は計画的にいただいているもの、長期保存できるものだけではありません。「予期せぬ嬉しい提供」もあります。同じ品目をたくさん提供いただく場合や、賞味期限が迫っているものもあります。

例えば人参が多いときにはカレーにすりおろ

して入れたり、人参の炊き込みご飯にしたりします。甘みを感じる彩りの良い人参の炊き込みご飯は好評です。

目に見えて毎食同じ食材が続くと、入居者も飽きを感じてしまうことがあるので、厨房ではいただいた貴重な食材を入居者に喜んで食べてもらえるよう日々工夫をこらしています。



提供いただいている食材は抱樸館福岡になくてはならないものになっています。ありがとうございます。

抱樸館福岡の早野誠新館長取材しました！！

～入居者の主体性を促していけるように～

2021年3月に抱樸館福岡の新館長として着任された早野誠館長取材しました。現在、早野館長は43歳で、館長になる前は社会福祉法人グリーンコープの地域生活支援事業本部の責任者として、就労支援などをしていました。館長に着任し、今後の抱樸館についてのお話など伺いました。

——グリーンコープとの出会いを教えてください。

「出身は福岡で、大学を卒業後は教材の訪問販売の仕事をしていました。当時は転勤が多く広島、大阪、東京、名古屋と色々なところで仕事をしました。その仕事を辞めて福岡に戻り、2008年にグリーンコープと出会い、入職しました」

——抱樸館に来る前は、どのような仕事をされていたのですか。

「グリーンコープに入ってからすぐに、鹿児島や兵庫へ転勤となり、3年半ほど配達をしていました。その後、福岡に戻り企画部（カタログを作成する部署）に配属となり課長、部長職を経て、企画部の本部長をしていました」

——それから京都自立就労サポートセンターへ出向されたそうですね。

「2017年頃に、グリーンコープが今後ひきこもりなどで困っている方に対して支援を行っていくことが決まり、就労支援の対人スキルの勉強のため、京都にある『一般社団法人京都自立就労サポートセンター』へ1年半ほど出向しました」

——今までと全く違う仕事ですが、戸惑いなどはなかったですか。

「もともと、対人支援をしたいという思いがあったので、戸惑うようなことはありませんでした。家族以外の人で、対象者のために寄り添い一生懸命に動いている人ってとてもすごいと思います。対象者ときちんと向き合い、その人にとって良い道と一緒に考えることが



早野館長（右）
入居者の高瀬さん（左）

できるような支援がしたいと思っています」
——それから社会福祉法人グリーンコープで就労支援にたずさわることになったそうですね。「京都での出向が終わり、福岡へ帰任した後は、社会福祉法人グリーンコープへ配属となり、就労準備支援事業やグリーンコープ独自で行っているひきこもり支援の責任者として仕事をしていました。そして、この春から抱樸館の館長として頑張っています」

——抱樸館での館長の仕事を教えてください。

「抱樸館の入居者全員のことを把握するために、どんなことでも自分から率先して動いていくようにしています。毎朝の入居者全員の検温をしたり、窓口対応や電話の応答、食事の準備の対応をしたりとなんでもやっています。また、他の職員と同様に、入居者の相談支援もしています」

——支援の中で、大切にしていること何ですか。

「個人を尊敬すること、絶対に偉そうにしないことです。個人を尊敬しないと、頭ごなしに上から物事を言うようになります。そうしてしまうと、今まで自分が生きてきた価値観だけでどうにかしようとしてしまうようになります。そこは支援を行う中で大切にしていることですね。あとは、本人に主体性を持ってもらえるよう、待つことを大切にしています。『〇〇をしよう、〇〇すべきだ』などと押し付けたりせず、本人がきちんと考えて、言葉にできるまで待つことです。本人がどうしたいかをきちんと引き出して、一緒に進んでいかないと、支援者と対象者の考えが噛み合わなくなってきます。そして、どうしたいかを一緒に考え、短期、中期、長期の目標を立てて具体的にどこに向かっていくか、見えるようにすることも大切ですね」

——今後の目標を教えてください。

「抱樸館の相談員個々の支援スキルを今以上に上げていきたいと思っています。支援の中身についても色々意見が出て、お互いに切磋琢磨しながら、進んでいけるような、強い職場をつくってみたいです」

——ありがとうございました。

抱樸館福岡でのボランティア活動取材しました！

～地域での孤独や孤立を防ぐための仲間づくり～

抱樸館へ入居されている方々の年齢層は、10代から80代までと幅広く広がっています。若い年齢層で働くことができる方は、就職を目標に、高齢で元気な方は生きがい就労などを目標として、再び地域で元気に生活を送ることができるよう頑張っています。なかには、病気だったり身体が不自由な方もおられますが、そのような方も「何かの役に立ちたい」と抱樸館内のボランティア活動に参加されることもあります。

抱樸館に入居されている方のなかには、住む場所や仕事をする場所を失っただけでなく、人と人とのつながりも無くなってしまい、孤立し、孤独になった方も少なくありません。そのような方々が抱樸館を退居された後、地域で生活していくなかで、ふたたび孤立し、孤独になることがないよう、地域や地域に住む方々との関係性を築くことが大切だと考えています。

抱樸館福岡では支援プログラムのひとつとして、ボランティア活動を準備しています。このボランティア活動は、単にボランティアに参加するというだけではなく、人と人とのつながりや生きがいづくりや就労の前準備などにもつながっています。

抱樸館を退居した後も、地域や地域に住む方々とのつながりが持てるような関係づくりができるよう支援を行っています。

――抱樸館福岡では毎朝、抱樸館周辺の地域清掃ボランティアを行っています。参加された入居者の方に感想をお聞きしました。

「私は86歳と高齢ですが、抱樸館でお世話になるようになってから、社会や地域のために何かできること



はないかと常々考えていました。そんな時に、毎朝、抱樸館の周りを清掃していることを聞いて参加しました。朝から清掃をすると気持ちがいいですし、これからボランティアなどに関わっていきたいと思いました」

――コロナ禍になり抱樸館では毎日、一日6回の館内アルコール消毒を行っています。これも全て入居者からボランティアを募り行っています。参加されていた入居者の齊藤貢さんにお話を聞きました。

「色々あって少し前まではホームレス生活をしていました。その時、炊き出しに行った先で抱樸館のことを教えてもらい、お世話になっています。美味しくて温かいご飯を3食いただいて、本当にありがたいです。館内のアルコール消毒ボランティアは、他の入居者から声をかけられて、参加するようになりました。ドアノブ、共用のテーブル、椅子、階段の手すりなど、みんなが触れるところを中心に消毒をします。これをきっかけに、色々なボランティアに参加したいと思うようになりました」



――相談員からも話を聞きました。

「ボランティアは誰かと一緒にやることに意味があると思っています。同じ作業を皆で一緒にすることで、仲間意識

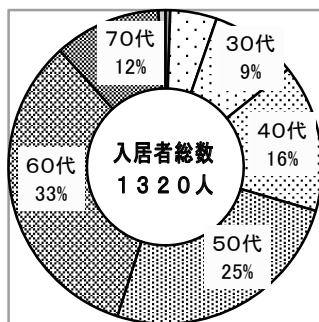


が芽生え、入居者同士の良いつながりができます。また、私たち相談員の立場としては入居者との面談では聞けないような話しが、一緒に作業をするなかで聞くことができることもあり、意外な一面を発見することもあります。その他に、抱樸館の卒業生の集まりである『えにしの会』でも仲間づくりや生きがいづくりを目的に、ボランティア活動に取り組んでいます。ボランティア活動を通して、仲間をつくり、地域での孤独や孤立を防ぐことにつながればよいと思います」

――ありがとうございました。

抱樸館福岡の入居・退居などの状況

開所から2021年6月末までの入居者数



	人数	割合
10代	6	0.5%
20代	68	5.2%
30代	116	8.8%
40代	204	15.5%
50代	327	24.8%
60代	432	32.7%
70代	155	11.7%
80代	12	0.9%
計	1320	100%

2021年6月末現在の入居者

67人（定員81名） 男性67名、女性0名

2021年5～6月の新入居者数・退居者数

新入居者数14名 退居者数12名

（注：6月末までの入居者数1320名は、
2度・3度入居した人も1名と数えています。）

抱樸館北九州の入退居の状況は、特集の際にご案内します。

抱樸館福岡の見学のご案内（現在、中止中）

- ・抱樸館福岡を身近に感じていただき、ホームレス問題を深く知っていただくために、広く見学を募ってまいりました。多くの方が見学に訪れてくださり感謝申し上げます。
- ・大変残念なことです。現在コロナ禍のため、入居者の健康を最優先し、見学を中止しています。
- ・状況が変わりましたら、会報やホームページ等でご案内を再開させていただく予定です。ご了承下さい。

抱樸館を支える会の概要

抱樸館を支える会の目的

以下の事業・活動を目的としています。

- ◇ホームレス者支援事業
- ◇抱樸館に関する広報活動及び資金援助活動
- ◇これらに附帯又は関連する事業

設立年月日：抱樸館福岡が2010年5月に開設されるのにあわせて同年4月10日に設立

正会員：以下の18団体が正会員です。

- グリーンコープの各単協（15生協）
- グリーンコープ連合会
- NPO法人 抱樸（旧：北九州ホームレス支援機構）
- 社会福祉法人グリーンコープ

賛助会員

2021年6月末の賛助会員は、以下の通り

- グリーンコープの共同購入組員 10,445名
- グリーンコープの店舗組員・一般の方 179
- 企業賛助会員 102社

その他（抱樸館の所在地）

- 抱樸館福岡（福岡市東区） 2010年 5月開所
- 抱樸館北九州（北九州市八幡東区） 2013年 9月開所
- 抱樸館下関：新たに開設を準備中
- 抱樸館熊本（熊本市中央区） 2018年12月開所

抱樸館を支える会 賛助会員と会費について

抱樸館を支える会 賛助会員募集

賛助会員を募集しています。
賛助会員には、会報をお届けします。

グリーンコープの共同購入組員

賛助会員の申込には2つの方法があります。

- ①毎月250円の賛助会費を申し込みいただく（年間で3000円です）

毎月の商品代金と一緒に引き落としとなります。
共同購入申込書の「1300」で申し込みください。

- ②101000円の賛助会費を申し込みいただく
何口でも申し込み出来ます。

申し込みいただいた月の商品代金と一緒に
一括して引き落としとなります。
共同購入申込書の「1299」で申し込みください。

賛助会員は一度申し込みいただくと毎年更新されますので新たに申し込みいただく必要はありません。（グリーンコープの共同購入組員の場合）

- ①の賛助会員は毎月継続して250円請求させていただきます。②の会員は申し込みいただいた月に毎年一括して請求させていただきます。

一般の方、グリーンコープの店舗組員

101000円の賛助会費を何口でも申し込み出来ます。

郵便振替でお願いします。

郵便振替 01710-0-123003

一般社団法人 抱樸館を支える会

企業賛助会員 募集中です

企業賛助会員は、会費が1010,000円です。出来れば30（30,000円）以上でお願いします。申し込みは、下記へ。

「抱樸館を支える会」事務局

〒812-0011

福岡市博多区博多駅前1丁目5番1号

社会福祉法人グリーンコープ内

電話 092-482-1964

抱樸館の連絡先

抱樸館福岡（電話 092-624-7771 FAX 092-624-7772）

〒813-0034 福岡市東区多の津5丁目5-8

抱樸館北九州（電話 093-883-7708 FAX 093-883-7705）

〒805-0027 北九州市八幡東区東鉄町7-11

抱樸館熊本（電話 096-245-7521 FAX 096-245-7522）

〒860-0811 熊本市中央区本荘